

# 消化器病学領域における基礎と臨床、国内外のエビデンス、最新知見を網羅 第一線をいく執筆陣 約 500 名、カラー図表 3180 点！

消化器病学の

消化器病以外の  
領域の診療にも！  
「今」がわかる！

## 序文 より抜粋

わが国の消化器病学のレベルはきわめて高く、基礎研究では欧米に匹敵する業績をあげておらず、一方、臨床では内視鏡手術をはじめ欧米に先んじている分野が数多く存在し、世界の消化器病学をリードしていることは間違いない。しかしながら、これまでわが国で本格的な消化器病学の教科書を編纂するという大きな事業はなされていなかった。Bockus や Yamada の消化器病学のような優れた教科書づくりは、わが国の消化器病学分野で研鑽を積んでいる者にとって大きな夢であったと思われる。この夢の実現のためには、本教科書の構成を緻密に組み立てることと優れた執筆者を選出することが最も重要であった。特に執筆者選びは慎重に行い、学問的にレベルが高いだけではなく、わかりやすい記述をしてくれることを大きな条件とした。

本書はほぼすべての消化器病学の分野をカバーしているため、知りたい項目を検索する専門事典として利用するのも一つの方法であろう。近い将来、消化器病学の話をするうえでこの教科書を読んでいないと話が続かないという時代がやってくることを期待している。

編集者を代表して 浅香正博

## 目次

1章 消化管疾患の診察	憩室炎、痔瘻／腸管囊胞性気腫症／感染性腸炎／急性虫垂炎／肛門感染症／潰瘍性大腸炎／Crohn病／NSAIDs起因性腸炎／非特異性多発性小腸潰瘍症／単純性潰瘍／腸管ペーチェット病／Schönlein-Henoch紫斑病／腸管のGVHD／放射線性腸炎／抗生物質起因性出血性大腸炎／偽膜性大腸炎( <i>Clostridium difficile</i> 関連疾患)／消化管アミロイドーシス／子宮内膜症／小腸腫瘻／虫垂腫瘻／大腸腫瘻／大腸非上皮性腫瘻
2章 消化器臓器の構造と機能	
3章 症候学	
4章 一般臨床検査	
5章 画像検査	
6章 内視鏡検査	
7章 消化器感染症	
8章 消化器疾患各論	
1. 食道疾患	先天性疾患／食道憩室／食道裂孔ヘルニア／食道異物／食道・胃静脈瘤／食道アカラシア／汎発性食道痙攣／Mallory-Weiss症候群／特発性食道破裂(Boerhaave症候群)／食道感染症／胃食道逆流症／Barrett食道／腐食性食道炎／好酸球性食道炎／食道潰瘍／膠原病の食道病変／食道良性腫瘻／食道悪性腫瘻
2. 胃・十二指腸疾患	先天性疾患／胃・十二指腸異物／胃血管病変／機能性ディスペンジア／他の機能性胃・十二指腸障害／急性胃炎／慢性胃炎／Ménétrier病／胃・十二指腸潰瘍／胃感染症／好酸球性胃腸炎／胃アミロイドーシス／胃切除後症候群／胃・十二指腸のGVHD／IBD／伴う上部消化管病変／過形成性ポリープ／胃底腺ポリープ／胃腺腫／他の胃良性腫瘻／胃悪性腫瘻／胃非上皮性腫瘻／十二指腸腫瘻
3. 小腸・大腸疾患	先天性腸疾患／腸憩室症／腸重積症／結腸軸捻転症／イレウス(腸閉塞症)／巨大結腸症／肛門脱直腸脱／便秘症/outlet obstruction syndrome／下痢症／WDHA症候群／過敏性腸症候群／他の機能性腸障害／直腸粘膜脱症候群／吸收不良症候群／小腸・大腸静脈瘤／虚血性腸炎／腸間膜動脈閉塞症／腸間膜靜脈梗化症／腸管angioectasia／腹部アングイナ／痔核／



一目でわかる！圧倒的な数の写真・図版が新しい!!